

# 1人当たり医療費は前年度に比べ7千円増加

## —令和6年度における本県の国保加入者数、国保医療費等の状況—

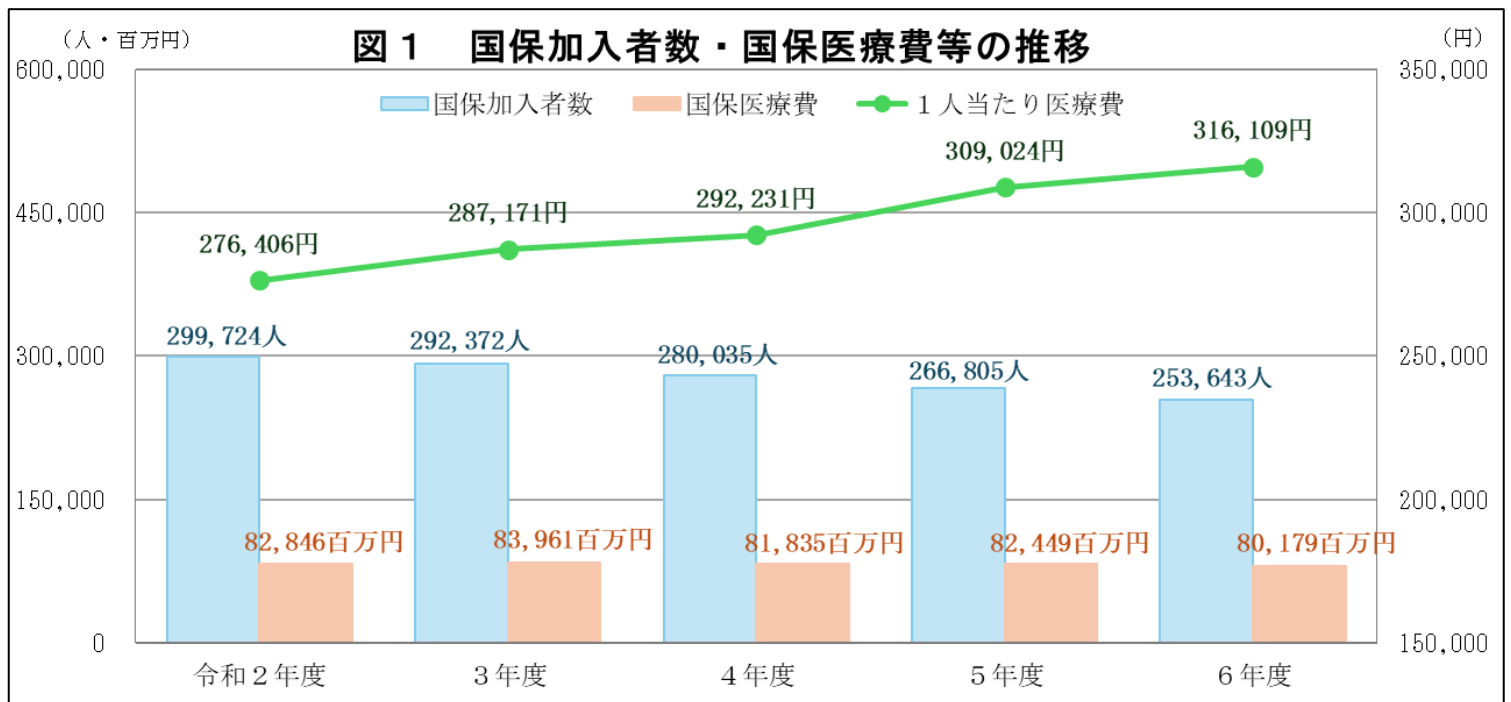
本県の国保加入者数は、高齢化の進行や被用者保険の適用拡大により年々減少しており、その影響から国保医療費も減少傾向にある。

令和5年度の同医療費は、新型コロナウイルス感染症の影響による入院・手術制限の解除等で一時的に増加したものの、令和6年度は再び減少に転じた。

このように加入者数、医療費ともに減少となる中で、1人当たり医療費は医療の高度化等もあって前年度に比べ7,085円増の316,109円と、増加傾向が続いている。(図1参照)

国保加入者数は、ここ5年の間に46,000人以上減少しているため、国保料(税)の増収が難しいことから、国保制度の安定運営に向け、これまで以上に医療費の適正化及び医療や健(検)診の適正受診を促す取組が重要である。

こういった医療費や国保料(税)等の状況は本会作成の『国民健康保険図鑑』(令和6年度実績等を取りまとめた「令和7年度版」は令和8年3月18日付けで本会ホームページに掲載)に詳しく掲載しているので参考にしていきたい。



$$\text{◎ 1人当たり医療費} = \frac{\text{国保医療費 (入院+入院外+歯科)}}{\text{国保加入者数 (年度平均)}}$$

◎各年度の事業年報(国民健康保険図鑑作成時点)より調製した。

# 1人当たり医療費を3つの要素に分解してみると…

## 1. 受診率（国民健康保険図鑑 第1表より）

県平均は1,089.16（対前年度比0.26%増）となった。（図2参照）

受診率は、一般的に受療環境の変化、感染症の突発的な流行などの影響を受けると言われており、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響等に伴う受診控えが大きく影響したことで大幅に低下したが、令和3年度以降は再び上昇している。

## 2. 1件当たり日数（国民健康保険図鑑 第4表より）

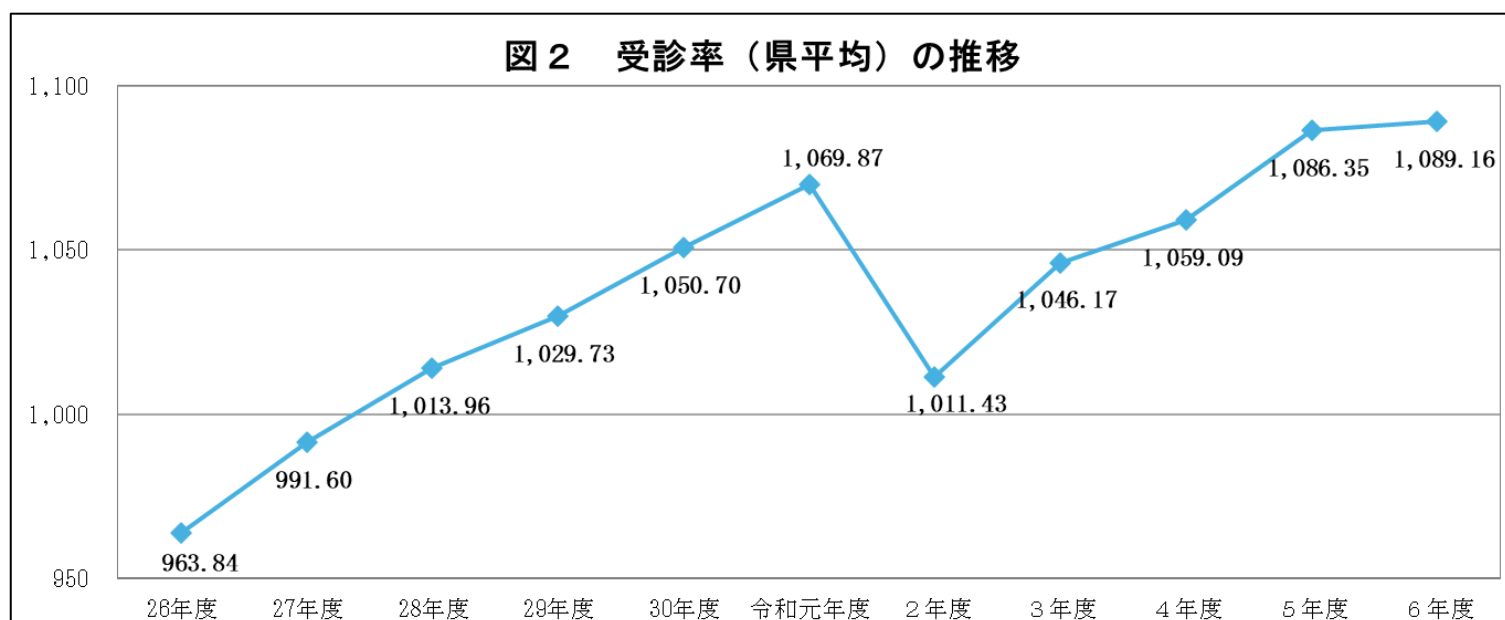
県平均（合計）は1.78日（対前年度比0.01日減）と前年度の増加から一転して減少した。（図3参照）

入院・入院外等別で見ると、入院、入院外、歯科のいずれも前年度に比べ減少している。

## 3. 1日当たり医療費（国民健康保険図鑑 第5表より）

県平均（合計）は16,345円（対前年度比2.64%増）と増加傾向が続いており、平成15年度以降22年連続で上昇している。（図4参照）

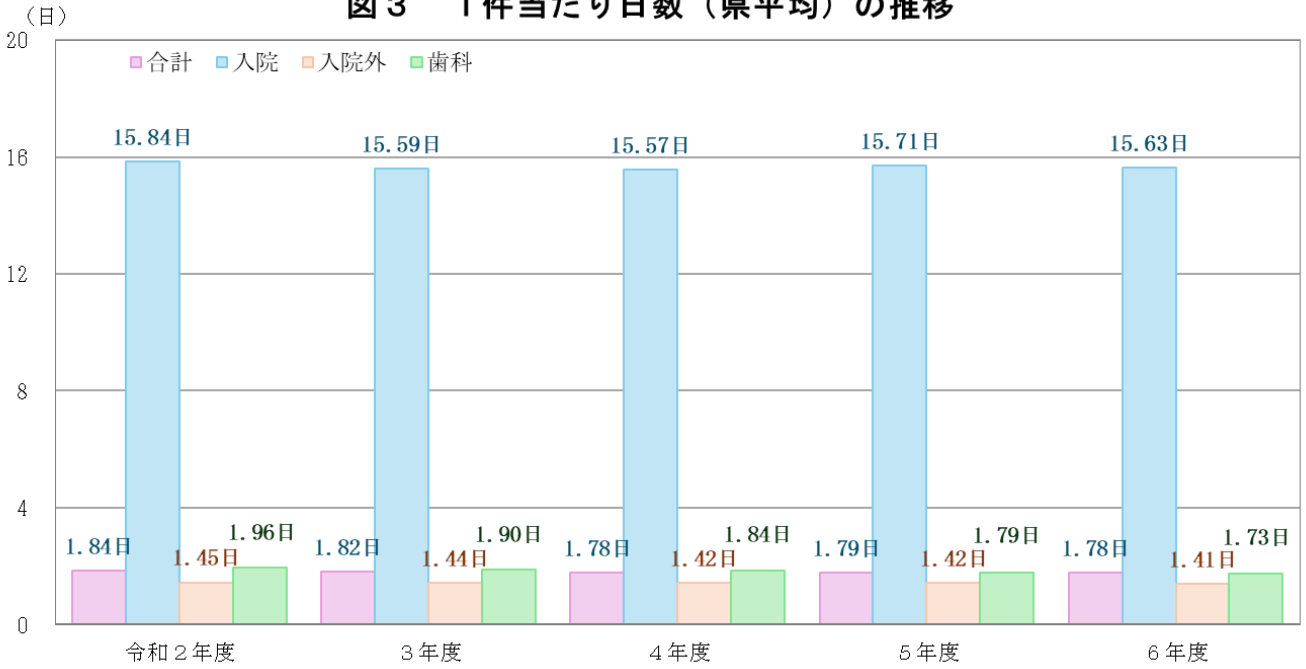
1日当たり医療費は、一般的に医療費改定や疾病構造、受療環境等に左右されやすいと言われている。



$$\text{◎受診率} = \frac{\text{国保レセプト（入院+入院外+歯科）件数}}{\text{国保加入者数（年度平均）}} \times 100$$

◎各年度の事業年報（国民健康保険図鑑作成時点）より調製した。

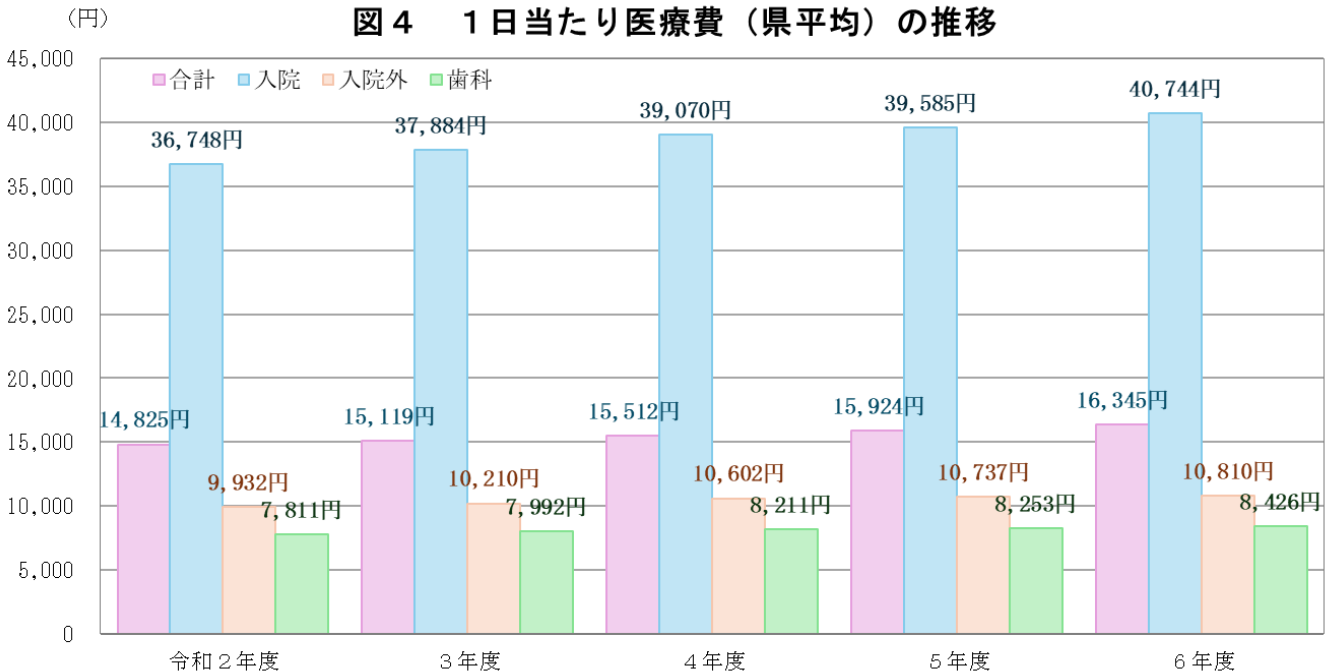
図3 1件当たり日数（県平均）の推移



$$\text{◎ 1件当たり日数} = \frac{\text{国保診療日数}}{\text{国保レセプト件数}}$$

◎各年度の事業年報（国民健康保険図鑑作成時点）より調製した。

図4 1日当たり医療費（県平均）の推移



$$\text{◎ 1日当たり医療費} = \frac{\text{国保医療費}}{\text{国保診療日数}}$$

◎各年度の事業年報（国民健康保険図鑑作成時点）より調製した。